

事務局代表者NEWS

ブランド化に取り組む兵庫県の 特徴ある組合活動を視察

広島県中小企業団体事務局代表者協議会(会長 堀岡芳郎)は、11月28日、29日の2日間、「兵庫県の先進事例研究」をテーマに現地訪問研究会を実施した。

この現地訪問研究会は例年7月に行っているが、豪雨災害の影響で11月に時期を延期しての開催となった。

・『揖保乃糸』兵庫県手延素麺協同組合～組合による品質管理体制と揖保乃糸ブランド管理について～



兵庫県手延素麺協同組合 組合会館

当組合は、420名の手延べ素麺製造業者で組織されており、手延べ素麺の生産日本一を誇っている。組合の事業としては、組合員の製造した手延べ素麺の全量を組合で共同販売している

ほか、原料の共同購入、素麺を熟成するための共同保管、品質を維持・向上するための技術指導、TVCMなどの共同宣伝事業を行っている。

品質管理と技術指導には特に力を入れており、一束毎に生産者を識別する番号を刻印し、品質基準を下回る組合員にはペナルティを課すこともあるとのこと。

組合が原料仕入れから熟成保管、販売・宣伝を担うことで、組合員は高品質な素麺作りに集中することができ、『揖保乃糸』のブランド力を維持し、価格交渉力をもって販売することが可能となっている。



揖保乃糸 資料館「そうめんの里」での手延べ体験



鞆職人養成専門学校 『Toyooka KABAN Artisan Avenue』

・『豊岡鞆』豊岡まちづくり株式会社～豊岡鞆の歴史とブランド化の取り組み、鞆職人の育成について～

豊岡は、柳細工のカゴから数えると1000年の鞆作りの歴史があり、現在も鞆の生産量は日本一である。

昭和40年代後半には安価な外国製品に押され、厳しい時期を迎えたが、新たな素材を取り入れ、生産を合理化し、さらにOEM生産から自社ブランドへの転換、外部デザイナーとのコラボなど、兵庫県鞆工業組合を中心とした取組で鞆産地としての知名度を向上させた。

2006年には『豊岡鞆』として地域団体商標に登録され、さらにブランド力の向上に繋がった。『豊岡鞆』を名乗るためには人目につかない場所の縫い目一つにまでこだわりぬいた厳しい製品認定基準をクリアする必要があり、審査会において半数が落ちるほどの妥協のない品質管理が、信頼とブランド力に繋がっている。

今回の研究会では、豊岡まちづくり株式会社が自ら設けた鞆職人養成専門学校、『Toyooka KABAN Artisan Avenue』を訪問した。

この専門学校では、一年間かけて鞆の様々な製作方法はもとより、生産管理や商品企画、経営まで学び、『豊岡鞆』の技能・技術の伝承と豊岡ブランドの継承を目指している。